

## 在校生からのメッセージ



橘 飛羽さん

私が所属する札南科学部では、想像以上のハードスケジュールになることがあります。

昨年度は、4回ある定期考査のうち3回でテスト期間と大会練習期間が重なり、また、学校行事でも、修学旅行の前半や春季球技大会と日程が重まりました。

科学部という部活の特徴として、大会に向けた専門的な勉強が必要になることがあります、昨年出場した第15回科学の甲子園全国大会の練習期間中は、学校の勉強にはほとんど時間を割けず自分の担当分野である化学の勉強に集中することになりました。

もちろん、常にそのように忙しいというわけではなく、普段は部活の頻度は少なく勉強と両立することが可能です。

勉強と部活の両立は決して簡単ではありませんし、忙しい毎日ではありましたが、その分得られる達成感も大きかったです。

勉強も部活も頑張りたいという方は、ぜひ札南へ！



安部 凛々子さん

札南生は、勉強だけでなく部活や学校行事にも全力で取り組んでいます。仲間と切磋琢磨しながら、何事にも一生懸命頑張れる環境が整っていて、毎日充実した高校生活を送っています。

また、個人の活動にも打ち込めることも魅力です。私は総合的な探究の時間で、学校生活の不便なことを解決するという課題を立て、部活で使えるアプリ開発に挑戦しました。強い興味を持って取り組んだ探究学習では、学年の前で発表するだけでなく、札幌市民交流プラザの札南探究フェスタや、東京学芸大学の「探究の共創」という外部イベントにも参加しました。これらのイベントでは自分の発表をするだけでなく、様々な人と対話することで、視野を広げ、いろいろな意見や感想を得られ、貴重な経験をたくさん得ることができました。

札南では他にも、プログラミング、数学オリンピックなど、個人の活動を頑張っている人がたくさんいます。挑戦したいことがある方には最高の環境です！

この文章を読んでくださった皆さんが、札南で最高の3年間を送られることを願っています！